

令和元年度 第4回雄物川水系渇水情報連絡会【臨時会】概要

事務局：(上流部会) 湯沢河川国道事務所
(下流部会) 秋田河川国道事務所

趣 旨： 雄物川水系では、8月2日から雄物川水系渇水対策支部「注意体制」を設置し、8月8日には「警戒体制」へ移行し、16日の台風10号に伴う降雨により河川流況は若干回復傾向にはあるものの玉川ダムを主とした玉川水系ダム群では、玉川ダムの貯水率が30%を下回り、田沢湖も最低水位を下回る状況が続いていることから、今後の対応について協議するため臨時会を開催した。

日 時： 令和元年8月20日(火) 11:00~12:00

場 所： 大曲中央公民館 大研修室 (大仙市大曲日の出町2-6-50)

参加者： 42名

議 事：

1. 気象概況及び予報について (秋田地方气象台)
2. 雄物川水系の河川の流況について (事務局)
3. 各ダム及び田沢湖の貯水状況と今後の対応について (各ダム管理者、東北電力)
4. 取水状況について (各利水者)

内 容：

- 7月の降雨量が平年の3割~5割、8月に入って県北部で少なくないことを共有。
- 16日の台風10号に伴う降雨で若干流量が回復したが、上流部では過去5ヶ年平均渇水流量を下回っている箇所もある。
- 玉川ダムの貯水率は11時現在、26.3%、異常渇水時の運用ルール(案)レベル3(異常渇水①)となっている。
- 田沢湖の貯水位は10時現在、EL 245.78m(最低水位-0.22m)となっている。
- 県のダムも貯水位が低い状態となっている。
- 常時渇水時の運用管理ルール「レベル4」に近づいており、田沢湖の水位低下により遊覧船運航に支障が出るなど秋の観光シーズンにおける影響が大きいと考えられるため、さらなる節水への協力を要請した。
- このままの状況が続けば「レベル4」の対応として椿川地点の確保目標流量を更に低下せざるを得ない状況である。
- 「レベル4」への移行に伴い下流部では、塩水の遡上や取水障害などの支障が懸念されるため、各管理者において監視を強化するとともに取水状況などの情報共有の徹底することとした。
- かんがい期も終盤を迎え取水への影響は無く、20日現在番水などの対応はない。
- 大仙市水道3地区(南外・大沢郷・刈和野)では、緊急的な措置を継続中、その他の水道では影響なし。

